

和歌山県白浜町瀬戸漁港に漂着したサツマゴキブリ (ゴキブリ目, ゴキブリ上科)

Opisthoplatia orientalis (Blattaria, Blattoidea) washed ashore at the Seto fishing harbour, Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

南方系のサツマゴキブリ *Opisthoplatia orientalis* は1999年以降から白浜町で記録され、地球温暖化とあいまって、白浜町では近年ますます分布域が広がり、海岸への漂着さえも記録されている(後藤, 2000; 久保田, 2006, 2012a, b)。

今回、和歌山県白浜町瀬戸漁港の船揚げ斜路の満潮線より少し上部で死亡していた1個体のサツマゴキブリ(図1)を記録する。

2017年9月19日に発見し、新鮮な死体であった。この漂着は、9月18日夕方から真夜中に最も風雨が激しくなった台風18号によるものと推察される。2017年にこれ以外の漂着はない。



図1. 和歌山県白浜町瀬戸漁港に漂着したサツマゴキブリ

引用文献

- 後藤 伸. 2000. 「虫たちの熊野」. pp.77-81, 初版第1版, 紀伊民報, 田辺市, 和歌山県.
久保田 信. 2006. サツマゴキブリ和歌山県白浜町の海岸へ漂着. KINOKUNI, (70): 10-11.
久保田 信. 2012a. 和歌山県白浜町の海岸へ漂着した3個体目のサツマゴキブリ. KINOKUNI, (81): 9.
久保田 信. 2012b. 県白浜町に所在する京都大学瀬戸臨海実験所“北浜”で死亡していたサツマゴキブリ(ゴキブリ目, ゴキブリ上科). KINOKUNI, (82): 17-18.

(くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)